

ローターバッハ社：ARMv8-M アーキテクチャを採用したコアのサポートを開始

2016年12月 ヘーエンキルヒェン・ジーガーツブルン

マイクロプロセッサ開発ツールのトップメーカーであるローターバッハ社は、TRACE32[®]デバッグツールが新アーキテクチャ「ARMv8-M」ファミリのコアのサポートを開始したことを発表しました。

ARM[®]社は、米国カリフォルニア州サンタクララで開催された ARM の技術カンファレンス「ARM Tech Con」において、小フットプリントかつ低消費電力な「Cortex[®]-M23」および、従来の Cortex-M3/M4 デバイスと同等の性能を持つ「Cortex[®]-M33」を発表しました。両コアは ARMv8-M を実装した最初の製品です。

ARM[®] TrustZone[®]が統合されており、IoT アプリケーションのセキュリティの強化を可能にします。

TRACE32[®]ツールは、ARM[®] TrustZone[®]メカニズムが統合された両コアをフルサポートし、開発プロセスを通して完全な可視性とコントロールを提供します。

TRACE32[®]ツールは、ARM[®] Cortex[®]-M マイクロプロセッサの開発者に包括的なデバッグ環境を提供し、開発時間の短縮、最終製品の仕様適合の実現に貢献します。ローターバッハ社の Cortex[®]-M 用デバッグツールを既にご利用いただいているお客様は、ソフトウェアのアップデートのみでこれらの新しいデバイスに対応可能です。

LAUTERBACH, TRACE32 μTrace and other LAUTERBACH products and services mentioned herein as well as their respective logos are trademarks or registered trademarks of LAUTERBACH. All other product and service names mentioned are the trademarks of their respective companies.